

科 目 名		単 位 数	年間時間数	教 科 書 名	発 行 所
子どもの発達と保育		2	70	子どもの発達と保育	実教出版
学 期	月	進度予定及び実施内容		備 考	予定時数
		単元	節、項目など	留意点など	
		指導内容「子どもの発達と保育」 【年間授業計画】		科目『子どもの発達と保育』の具体的な指導目標 【年間授業計画】	
1 学 期	4	1章 子どもの保育 1. 保育の意義と重要性 3. 保育の方法		・子どもの保育に対する関心と課題意識を高める。 ・子どもの心の育ちを考えて、親の子どもへのかかわり方を知らせる。 ・保育実習において安全に配慮して子どもと適切に関わる方法を知る。	28
	5	1章 子どもの発達の特性 1. 発達と乳幼児期の意義 2. 発達と保育環境 3. 児童観と発達観		・乳幼児期の子どもに関心を持ち、乳幼児期の特徴理解に主体的に取り組ませる。	
	6	保育実習		・子どもを取り巻く環境が子どもの発達に大きな影響を与えることを理解し、発達段階における発達課題に応じて、接し方・援助の仕方・適切な保育環境整備について考えさせる。	
	7			・児童観と発達観の歴史的経緯を知らせる。	
2 学 期	8			・乳児の発達過程を学ぶ。	30
	9	2章 子どもの発達過程 1. 子どもの発育 2. 子どもの精神発達 3. 人間関係の発達		・胎児の生育環境である母体に対する関心と課題意識を高める。 ・乳幼児の身体的特徴と生理的特徴及びその変化に関する知識を ・子どもの精神発達の特徴と発達の経過について理解している。	
	10	3章 子どもの生活 1. 生活と養護 2. 子どもの遊び 3. 生活習慣の形成 4. 健康管理と事故防止		・発達段階を踏まえて乳幼児の発育・発達を促す玩具を製作する。 ・愛着関係形成のためには、どのような関わり方がよいか考えさせる。 ・子どもの生活に関心を持ち、主体的に子どもの生活を理解させる。 ・子どもの食生活や衣生活に関する知識を身につける。	
	11			・幼児の食事の特徴をふまえ、簡単な子どものおやつを作る。 ・子どもの安全と快適さという視点から必要な育児用品がわかる。 ・子どもにとって遊びの意義がわかる。	
	12	5章 子どもの福祉 1. 子どもの福祉		・子どもの主体性を育てる遊びの援助について考えている ・子どもが生活習慣を身につけるための援助の方法について思考を	
3 学 期	1	5章 子どもの福祉 2. 子育て支援		・児童福祉のための制度を知る。 ・児童虐待の現状と対策について自分なりに考えさせる。 ・子育ての現状をふまえて、子どもの幸せとは何かを考え、これからの子育て支援を考える。	12
	2				
	3				
評価の 観点	定期考査・課題提出・出席状況・授業態度等を総合的に評価する。				